

自然公園等工事特記仕様書（自然公園編）

I 工事概要

1. 工事名：令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事
2. 工事場所：東京都千代田区皇居外苑 桜田濠
3. 工期：契約締結翌日から令和9年3月26日まで
4. 工事内容：法面補強工 1式

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
3. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
4. 以下の項目は、該当する□欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 適用基準等

- (1) 自然公園等工事共通仕様書（環境省自然環境局自然環境整備課）
- (2) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- (3) 自然公園等工事施工管理基準（環境省自然環境局自然環境整備課）
- (4) 土木工事施工管理基準（国土交通省）
- (5) 写真管理基準（案）（国土交通省）
- (6) 工事完成図書の電子納品等要領（国土交通省）
- (7) 設計業務等共通仕様書（自然公園編）
- (8) 道路土工 切土工・斜面安定工指針（公益社団法人 日本道路協会）

IV 特記事項

1. 地域事項の概要

- (1) 文化財保護法による史跡名称天然記念物 国指定特別史跡 江戸城跡

2. 一般共通事項

- (1) 工事完成図のサイズは（□A1、A3、□ ）とする。
- (2) 工事完成図はCADで作成し、CADデータの提出は（必要、□不要）とする。
- (3) 工事写真は、（A4版、□版）の工事写真帳に整理して1部提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、監督職員と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。
- (4) 「国等による環境物品等の調達に関する法律」（グリーン購入法）に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）（環境省ホームページに掲載（毎年2月改正）において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績

集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロードの
うえ、Excel ファイルで作成し、提出する。

- (5) 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進
に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、監督職員
が指定した様式で作成し、提出する。

3. 施工条件

(1) 工事全般関係

- ①各種積算の取組： ②積算補正：DID(1)–3
□ ③調査対象工事： ④余裕工期の設定：

(2) 工程関係

- ①影響を受ける他の工事
a. 工事名・発注者：水草刈取工事（環境省）
b. 制約内容：水草刈り取り時期の作業台船の通行
- ②自然的・社会的条件による制約
a. 要因： b. 制約内容：
- ③関連機関との協議による制約
a. 関連機関：文化庁 b. 制約内容：国指定特別史跡の現状変更
c. 協議状況：現状変更申請済み。
- ④占用物件（地下物件、架空線など）・埋蔵文化財等の事前調査・移設
a. 物件内容： b. 物件管理者：
c. 事前調査・移設の期間：
- ⑤特殊工法に伴う設計工程上の作業不能日数
a. 対象工種： b. 場所：
c. 日数： d. 内容：

(3) 安全対策関係

- ①交通安全施設等の指定
a. 規制内容：バリケード、ガードフェンス等による囲い。夜間も継続して設置
する場合はランプ等を設置すること。
b. 規制箇所：駐車場及び資材仮置き場所
c. 規制期間：現場施工期間
- ②交通誘導警備員の配置
a. 対象要因： b. 対象箇所：
c. 対象期間： d. その他：
- ③対策をとる必要がある他施設との近接工事
a. 対象施設・管理者： b. 対象箇所：
c. 施工条件： d. その他（協議状況他）：

(4) 工事用道路関係

- ①工事用道路の使用

- a. 経路：桜田門周辺
 - b. 制限内容：宮内庁行事等
 - c. 占用する際の関係機関協議：丸の内警察署・麴町警察署
 - d. その他：
 - ②仮道路の設置
 - a. 区間：
 - b. 構造等の指定：
 - c. 必要な維持補修内容：
 - d. その他：
 - ③工事用道路の使用制限
 - a. 対象区間：桜田門周辺
 - b. 対象期間・時間：適宜
 - c. 制限内容：宮内庁行事による通行止め・仮囲いの一時撤去等
 - d. 関係機関協議：丸の内警察・麴町警察署
- (5) 仮設備関係
- ①他の工事に引き継ぐ場合
 - a. 仮設備の名称：
 - b. 引継ぎ先の受注者：
 - c. 撤去・損料などの条件：
 - d. 維持管理条件：
 - e. 引き渡し等の時期：
 - f. その他：
 - ②引き継いで使用する場合
 - a. 内容：
 - b. 時期：
 - c. 条件：
 - d. その他：
 - ③構造及び施工方法の指定
 - a. 対象物：石垣
 - b. 施工方法：
 - ④設計条件の指定
 - a. 対象物：
 - b. 設計条件：
 - c. その他：
- (6) 建設副産物関係
- ①建設副産物情報交換システムの活用

監督職員への報告は、当該システムで作成した再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)により行うものとする。
 - ②建設発生土情報交換システム登録対象

受注者は、発注者が当該システムに登録した情報について、発注後情報の更新を行うものとする。
 - ③再生資材の活用の明示
 - a. 資材名：
 - b. 規格：
 - c. 使用箇所：
 - d. その他：
 - ④建設リサイクル法対象工事
 - a. 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
 - b. 分別解体等の方法

- (1) 土砂のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- (2) 土砂を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、シート掛け等の適切な対策を講じる。
- (3) 植生保護及び土壌の固結防止を図るため、以下に場所においては重機等の出入りは避ける。
(図示： 、 監督員の指示による)
- (4) 土工における運搬および敷均し等については、含水比の高い状態で作業を行ってはならない。
- (5) 搬入する土砂は、地域生態系保全の観点から、以下の条件のものとする。
(条件：)

5. 無筋・鉄筋コンクリート

- (1) 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径(mm)	適用箇所
異形鉄筋	SD295A		
	SD345		
	SD390		

- (2) 鉄筋の継手方法は以下のものとする。
 - ①重ね継手：部位 ()、径 ()
 - ②ガス圧接：部位 ()、径 ()
 - ③ : 部位 ()、径 ()
- (3) 鉄筋圧接完了後の試験は以下のものとする。
(超音波試験、引張試験)

- (4) 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N/mm ²)	スランプ	適用箇所

- (5) 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N/mm ²)	スランプ	適用箇所

- (6) セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所
普通ポルトランドセメント	
高炉セメント	
フライアッシュセメント	

- (7) コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水は、公園区域外に搬出し

適正に処理する。

6. 材料

- (1) 以下の工事材料は、見本又は品質を証明する資料について、工事材料を使用するまでに監督職員に提出し、確認を受ける。
(JIS マーク表示品以外全て、)
- (2) 植栽材料については、納入前後どちらかで材料検査をする。また、監督職員の指示があった場合は、納入樹木の根巻きを一部取り外す等により根の状況を確認し、承諾を得ること。
- (3) 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。
- (4) 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。また、使用薬剤等については以下のとおりとする。
 - ①薬剤指定：有 ()、無 (条件：)
 - ②性能区分：JAS： 、AQ：
- (5) 木材のインサイジング加工は、製材の日本農林規格による。また、インサイジング機は、一般社団法人全国木材検査・研究協会において認定された機種を使用する。
- (6) 木材の加圧処理材を現場において切断等の加工を行う場合は、加工した部分に表面処理用木材保存剤（(公)日本木材保存協会(JWPA)認定薬剤）で野外での使用が可能な薬品を塗布する。
- (7) 木材の仕上げは、図面に記載のない限り、角材はプレーナー仕上げ及び丸太は円柱仕上げを標準とする。
- (8) 木材の端部及び角部は図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- (9) 木材の背割り加工は、材の厚みの (1/2、) とする。
- (10) 工事現場搬入時における木材の含水率を指定する場合は、同一試験試料から採取した試験片の含水率の平均値が以下の数値以下とする。
(人工乾燥処理： %、天然乾燥処理： %)

7. 工事共通

(1) 構造物撤去工

- ① 舗装切断作業により生じる汚濁水は、吸引により回収のうえ、公園区域外に搬出し適正に処理する。

(2) 仮設工

- ① 交通誘導警備員を配置する場合、各公安委員会が必要と認める路線・区間及び設計図書に記載のあった場合は、規制箇所毎に交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）1名以上配置するものとする。また、請負者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。

8. 地質調査

(1) 機械ボーリング

深度、孔径及び孔数は以下のとおりとする。なお、項目等の変更及びこれに寄りがない場合は、監督職員と協議する。

- ・ $\phi 66$ オールコア：4本（粘土16m程度・砂42m程度）
- ・ $\phi 86$ ノンコア：4本（粘土12m程度・砂38m程度）

(2) サンプルング

数量は以下のとおりとする。

- ・ シンウォール：4試料
- ・ トリプル：4試料

(3) 標準貫入試験

$\phi 66$ オールコアにて行うものとし、原則深度1mごとに実施する。数量は以下のとおりとする。

- ・ 粘土：16m程度
- ・ 砂：42m程度

(4) 室内土質試験

室内土質試験は、サンプルングした試料を対象とし、以下に示す試験を実施する。

- ・ 土粒子の密度試験：8試料
- ・ 含水比測定：8試料
- ・ 粒度試験：8試料
- ・ 液性限界試験：4試料
- ・ 塑性限界試験：4試料
- ・ 三軸圧縮 UU 試験：4試料
- ・ 三軸圧縮 CD 試験：4試料

9. 検討業務

- 地質調査の結果をもとに当該地の斜面安定計算を行うこと。また、ロックボルト工で用いる鉄筋の規格は斜面安定計算結果を基に決定すること。

- ① 計画準備
- ② 地盤特性検討
- ③ 機構解析
- ④ 安定解析
- ⑤ 対策工法選定
- ⑥ 報告書作成
- ⑦ 打ち合わせ協議：3回程度

10. 働き方改革関係

(1) 本工事は、自然公園等工事における「週休2日制工事（現場閉所型）」の対象工事である。

完全週休2日（土日）Ⅰ型

受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。

完全週休2日（土日）Ⅱ型

受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の取組のどちらかを希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、どちらも希望しない場合は通期の週休2日に取組むものとする。

(2) 週休2日の考え方

① 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所されている状態をいう。受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。

② 月単位の週休2日とは、対象期間内の全ての月で現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土日の閉所では、28.5%に満たない月は、その月の土日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。

③ 通期の週休2日とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日／28日）以上の水準の状態をいう。

④ なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

⑤ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含めない。

⑥ 現場閉所とは、巡回パトロール及び保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

⑦ 受注者の責によらない現場閉所

工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。

ただし、現場閉所による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

⑧ やむを得ない現場閉所

やむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休2日対象外期

間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

(3) 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書又は現場閉所率を確認できる資料等（現場閉所実績が記載された工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等）（以下「現場閉所実績報告書等」という。）を作成し、監督職員が指定する日までに現場閉所実績報告書等を提出するものとする。

(4) 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- ① 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- ② 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所を設置等の「施工準備期間」
- ③ 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」(4)降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数工事工程の共有

(5) 工事工程の共有

- ① 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- ② 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのかわ）について、受発注者で共有するものとする。
- ③ 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- ④ 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

11. その他

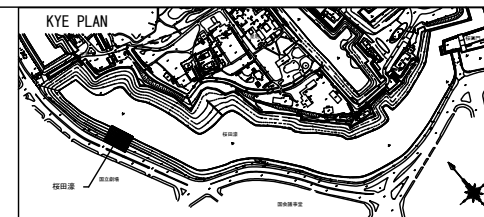
- (1) 史跡における工事であることから、できるだけ改変を抑えるとともに、千代田区もしくは文化庁担当者が立会いを希望した場合は対応すること。
- (2) 国指定史跡及び重要文化財である桜田門を通行する際は、傷つけないよう十分配慮すること。
- (3) 現場は主要な導線に当たるため、利用者の安全確保を徹底し、特に通行量が増加するイベント時に利用者と接触することのないよう注意すること。
- (4) サクラ開花時期及び卒業式開催維持期である三月中旬から三月末までは、多くの利用

者が行き来することから、現場での施工を行うことができない。なお、具体的な期間については監督職員と調整すること。

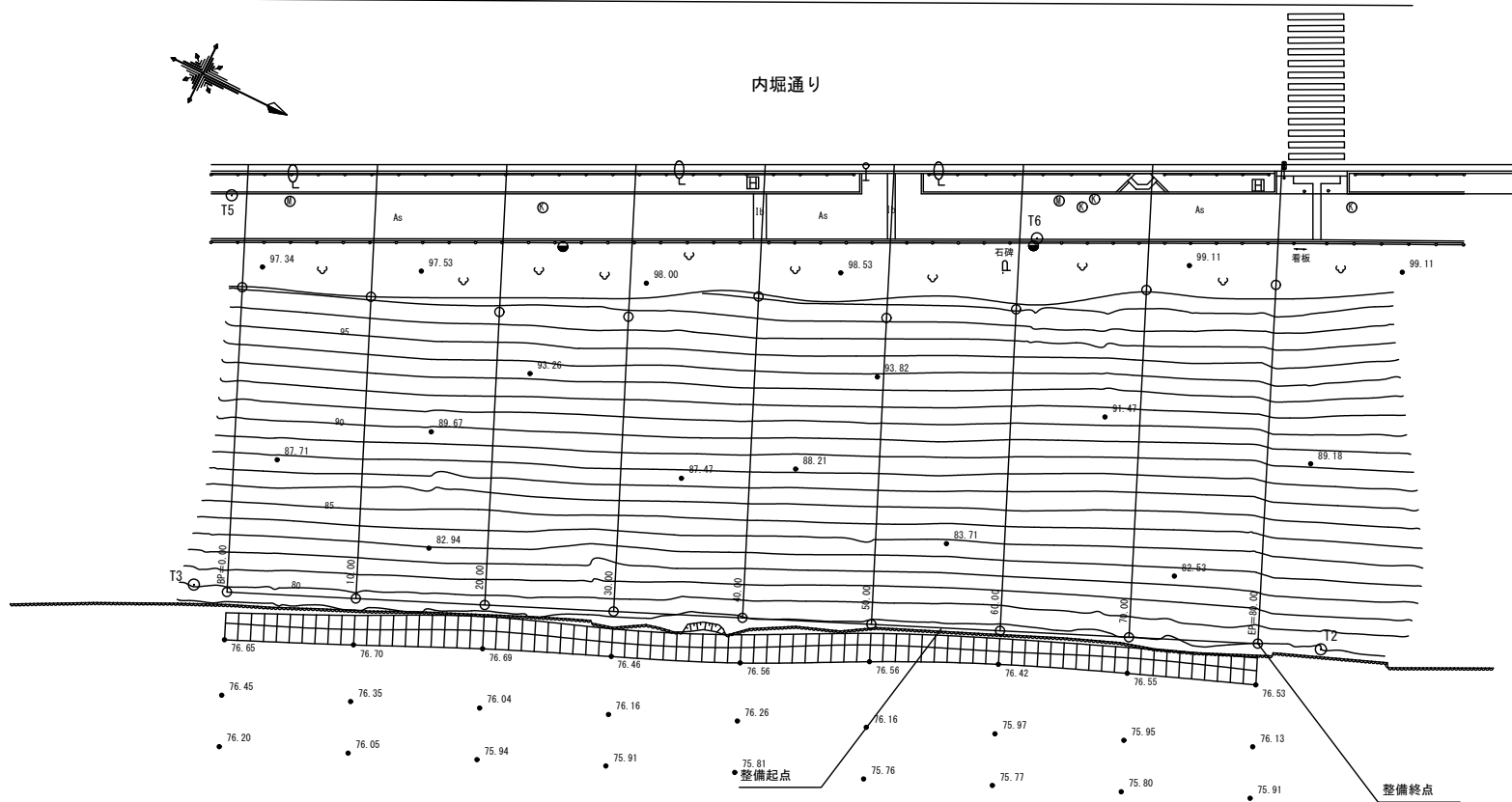
- ☑ (5) 工事に当たっては、皇居外苑工事作業心得を遵守すること。

桜田濠現況平面図

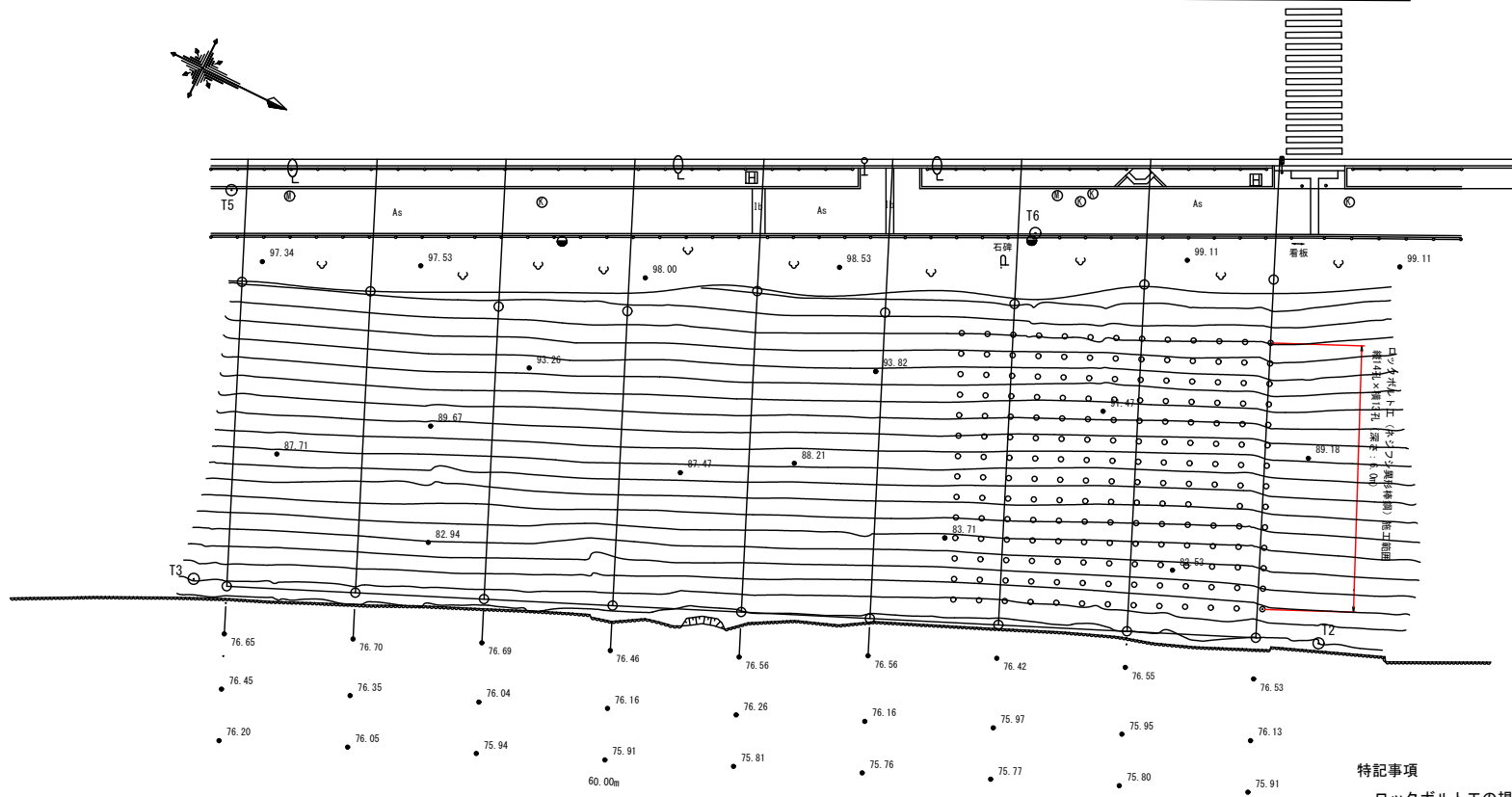
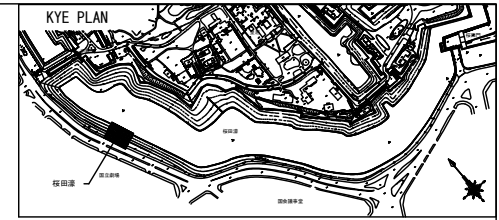
東京都千代田区千代田一丁目



内堀通り

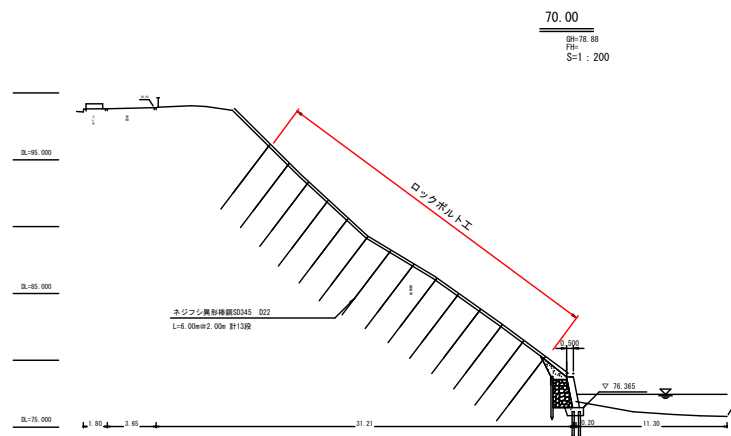
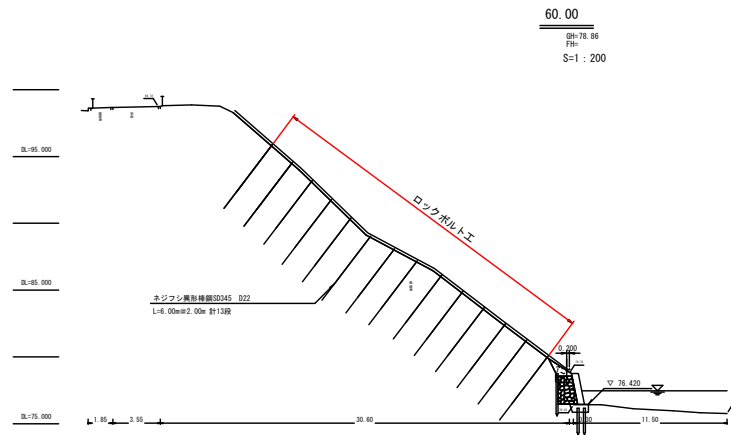
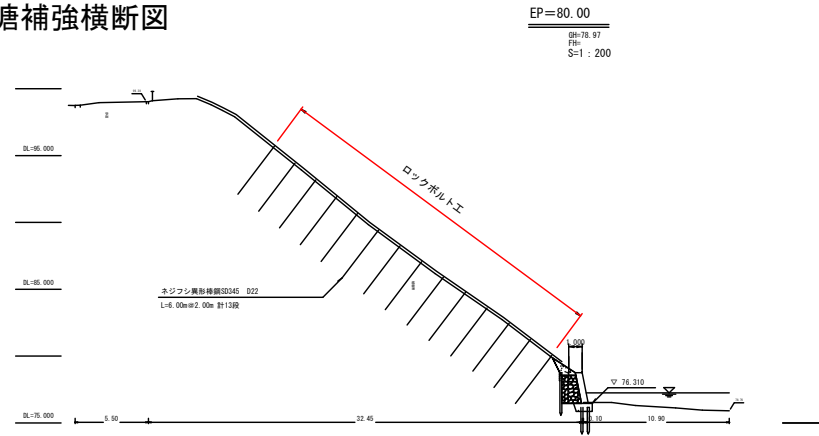
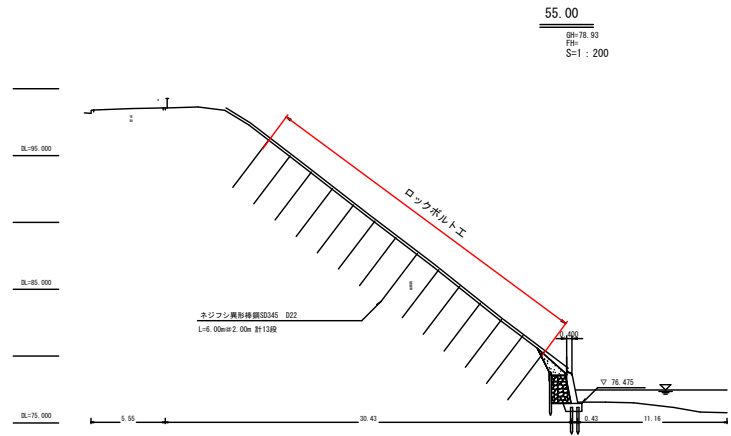


桜田濠堤塘補強平面図

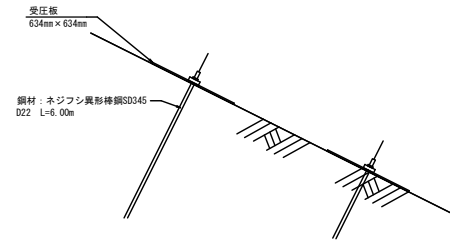


工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事		
図面名	桜田濠堤塘補強平面図		
作成年月日	2026年 5月		
縮尺	1 : 200	図面番号	3 / 5
会社名			
事業者名	環境省 皇居外苑管理事務所		

桜田濠堤塘補強横断図



ロックボルト工詳細断面図 S=1:20

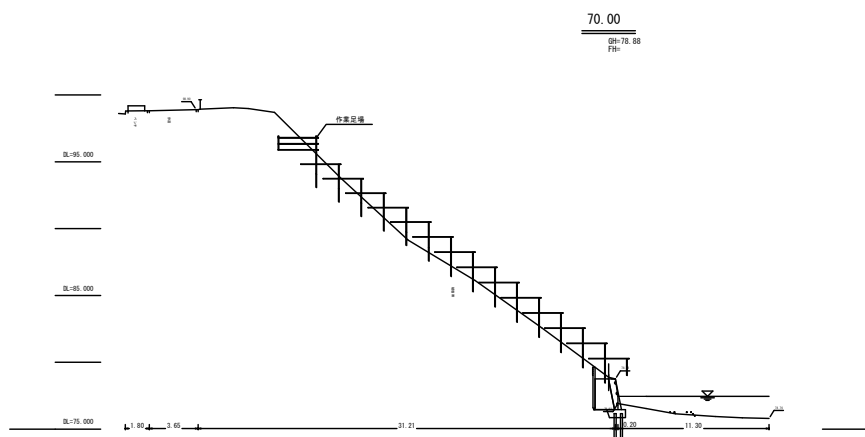
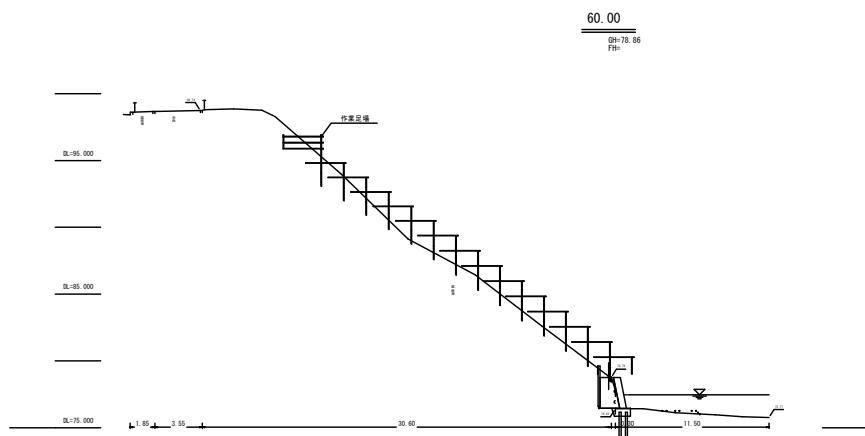
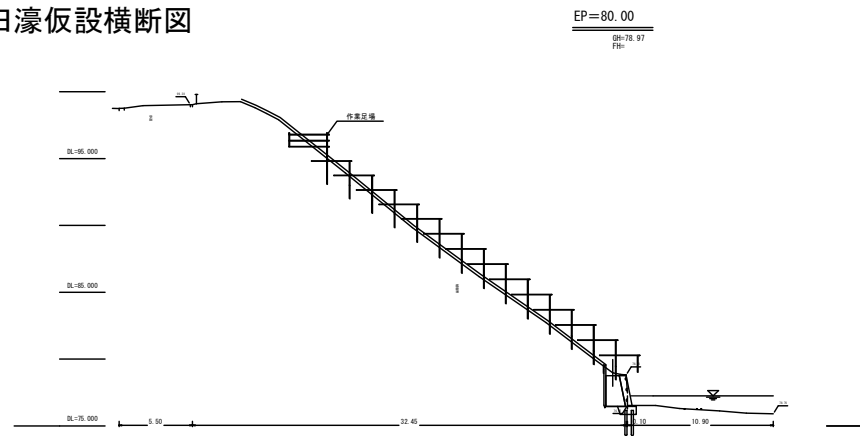
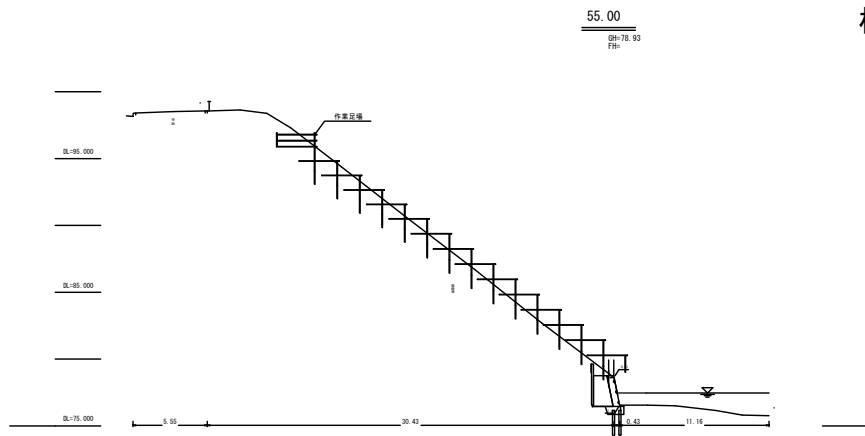


特記事項

ロックボルト工の規格は検討業務の結果を踏まえて決定する

工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事			
図面名	桜田濠堤塘補強横断図			
作成年月日	2026年 5月			
縮尺	図示	図面番号	4 / 5	
会社名				
事業者名	環境省 皇居外苑管理事務所			

桜田濠仮設横断面図



工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤増補強化工事		
図面名	桜田濠仮設横断面図		
作成年月日	2026年 5月		
縮尺	1:200	図面番号	5 / 5
会社名			
事業者名	環境省 皇居外苑管理事務所		

見積参考資料

令和8年6月
環境省 皇居外苑管理事務所

この「参考数量内訳書」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって「参考数量内訳書」は工事契約上の拘束力を生じるものではなく、入札（見積）参加者は本工事の趣旨を十分考慮して、工事目的を完遂するための一切の手段について、入札（見積）参加者の責任において定めるものとする。なお、「参考数量内訳書」に関する質問は、記載内容に関する不明な点や過誤の点に限り行えるものとする。また、「参考数量内訳書」の有効期限は、本工事入札日（見積日）までとする。

設計内訳書

工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
基盤整備		式	1						
法面補強工		式	1						
ロックボルト工		式	1					第1号 内訳書	
仮設工		式	1						
足場(アンカー)	標準	空m3	1,010					第1号 施工パッケージ代 価表	
法面補強仮設工		式	1					第2号 内訳書	
台船等運転		式	1					第3号 内訳書	
交通管理工		式	1						
交通誘導警備員A		人	209						
交通誘導警備員B		人	209						
直接工事費計		式	1						
共通仮設費		式	1						

設計内訳書

工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
共通仮設費		式	1						
運搬費		式	1						
運搬費		式	1					第4号 内訳書	
技術管理費		式	1						
地質調査費		式	1					第5号 内訳書	
地質調査仮設費		式	1					第6号 内訳書	
室内土質試験		式	1					第7号 内訳書	
検討業務		式	1					第8号 内訳書	
現場環境改善費(率計上)		式	1						
共通仮設費(率計上)		式	1						
純工事費		式	1						
現場管理費		式	1						

設計内訳書

工事名	令和8年度皇居外苑桜田濠堤塘補強工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
工事原価		式	1						
一般管理費等		式	1						
工事価格		式	1						
消費税相当額		式	1						
工事費計		式	1						

1 式 内訳書

ロックボルト工
第1号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
削孔工		m	1,092					見積比較表
グラウト注入工		m ³	17					見積比較表
受圧板設置工		枚	182					見積比較表
定着・試験		本	182					見積比較表
鋼材材料費	ネジフシ異形棒鋼SD345・ナット等一式	本	182					見積比較表
受圧板材料費	634mm×634mm	枚	182					見積比較表
	合計							

1 式 内訳書

法面補強仮設工
第2号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
法面清掃工:H30		m2	873					単-1号
運搬費(工事材料・用水・砂)	ロックボルト工	回	1					見積比較表
プラント設置・撤去	ロックボルト工	回	1					見積比較表
法肩養生設備設置・撤去		m	25					見積比較表
法尻養生設備設置・撤去		m	25					見積比較表
工事用水運搬費	皇居外苑管理事務所～桜田濠	日	65					見積比較表
仮囲い設置・撤去		m	60					見積比較表
敷鉄板設置・撤去		枚	25					見積比較表
仮囲い材損料費		ヶ月	7					見積比較表
敷鉄板損料費		ヶ月	7					見積比較表
仮囲い材 運搬費	5車程度	回	1					見積比較表
敷鉄板 運搬費		t	80.2					見積比較表

1 式 内訳書

台船等運転
第3号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
クレーン台船2隻	台船損料・船員等含む	ヶ月	13.9					見積比較表
材料台船2隻	台船損料・船員等含む	ヶ月	13.9					見積比較表
引船兼交通船30ps2隻	台船損料・船員等含む	ヶ月	13.9					見積比較表
ラフテレーンクレーン(1日当り)	[油圧伸縮ジブ型] 25t吊 排出ガス対策型(第1次基準値) 基礎工 場所打杭工(タウザホルハンマ工) 場所打杭(タウザホルハンマ) / C工法掘削用 特殊運転手 軽油 バトル給油 小型ローリー ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排対型(1次基準)] 25t吊	日	132					単-2号 国交省:標準積算基準書(赤) II-3-2-35
	合計							

1 式 内訳書

運搬費
第4号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
組立台船運搬費(クレーン台船)	2隻分	回	1					見積比較表
組立台船運搬費(資材台船)	2隻分	回	1					見積比較表
引船兼交通船運搬費	2隻分	回	1					見積比較表
台船設備材等運搬費	4隻分	回	1					見積比較表
組立台船(クローラークレーン4.9t吊、 バックホウ0.15m3)	2隻分 組立艀装・解体とも	回	1					見積比較表
組立台船(資材台船)	2隻分 組立艀装・解体とも	回	1					見積比較表
	合計							

1 式 内訳書

地質調査費
第5号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 土質ボーリング(オールコアボーリング 深度50m以下)	φ 66mm 粘性土・シルト 鉛直下方 市場単価	m	16					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 土質ボーリング(オールコアボーリング 深度50m以下)	φ 66mm 砂・砂質土 鉛直下方 市場単価	m	42					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 土質ボーリング(ノンコアボーリング 深度50m以下)	φ 86mm 粘性土・シルト 鉛直下方 市場単価	m	12					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 土質ボーリング(ノンコアボーリング 深度50m以下)	φ 86mm 砂・砂質土 鉛直下方 市場単価	m	38					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 サンプルング	固定ピストン式シンウォールサンプラー(シンウォールサンプリング) 粘性土 市場単価	本	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 サンプルング	ロータリー式三重管サンプラー(トリプルサンプリング) 砂質土 市場単価	本	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
標準貫入試験	粘性土・シルト 安全費を計上する(率計上) 標準値を使用(主として現道上) 大市街地	回	16					単-3号 土木コスト情報・土木施工単価
標準貫入試験	砂・砂質土 安全費を計上する(率計上) 標準値を使用(主として現道上) 大市街地	回	42					単-4号 土木コスト情報・土木施工単価
	合計							

1 式 内訳書

地質調査仮設費
第6号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 間接調査費	準備及び跡片付け 市場単価	件(業務)	1					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 現場内小運搬	モルレル架設・撤去 100m超200m以下 設置距離 市場単価	箇所	1					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 足場仮設	傾斜地足場 地形傾斜30° 以上~45° 未満 50m以下 市場単価	箇所	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 現場内小運搬	モルレル運搬 100m超200m以下 総運搬距離 モルレル機械器具損料は別途 市場単価	t	1.3					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 間接調査費	搬入路伐採等 市場単価	m	140					2026年05月号 建設物価・積算資料
国土交通省地質調査積算基準 対応市場単価 間接調査費	給水費(ポンプ運転) 20m以上150m以下 市場単価	箇所	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
	合計							

1 式 内訳書

室内土質試験
第7号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
地質調査 室内土質試験	土粒子の密度試験 3個/試料 材工共	試料	8					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の含水比試験 3個/試料 材工共	試料	8					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の粒度試験 ふるい分析 試料0.5kg未満 材工共	試料	8					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の液性限界試験 4~6点/試料 材工共	試料	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の塑性限界試験 3個/試料 材工共	試料	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の三軸圧縮試験 UU試験 3供試体/試料 径35~50mm 材工共	試料	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
地質調査 室内土質試験	土の三軸圧縮試験 CD試験 3供試体/試料 径35~50mm 材工共	試料	4					2026年05月号 建設物価・積算資料
	合計							

1 式 内訳書

検討業務
第8号 内訳書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
計画準備	3種目 (1. 2)	業務	1					単-5号 設計業務基準 2-2-32
地盤特性検討	2 個所 (1. 6)	業務	1					単-6号 設計業務基準 2-2-38
機構解析	2ブロック (1. 3)	業務	1					単-7号 設計業務基準 2-2-38
安定解析	2断面 (1. 1)	業務	1					単-8号 設計業務基準 2-2-38
対策工法選定	2個所 (1. 5)	業務	1					単-9号 設計業務基準 2-2-39
報告書作成	3種目 (1. 2)	業務	1					単-10号 設計業務基準 2-2-39
打合せ協議:H26	全 選 択 2回(標準)	業務	1					単-11号
	合計							

代価表

単-1号	法面清掃工:H30		単位	m2	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0.457				
	法面工		人	1.826				
	諸雑費	(率+まるめ)	%	3				
		合計						
		1m2当り						

代価表

単-2号	ラフテレーンクレーン(1日当り)	[油圧伸縮ジブ型] 25t吊 排出ガス対策型(第1次基準値) 基礎工 場所打杭工(ダウンサールハンマ工) 場所打杭(ダウンサールハンマ) / C工法掘削用 特殊運転手 軽油 パトロール給油 小型ローリー ラフテレーンクレーン[油圧伸縮	単位	日	数量	単価	1	単価	
	名称	規格	単位		数量	単価	金額		摘要
	特殊運転手		人		1				
	軽油	パトロール給油 小型ローリー	L		90				2026年05月号 建設物価 積算資料
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排対型(1次基準)]	25t吊	供用日		1.65				建設機械等損料表
	諸雑費	(まるめ)	式		1				
		合計							
		1日当り							

代価表

単-3号	標準貫入試験	粘性土・シルト 安全費を計上する(率計上) 標準値を使用(主として現道上) 大市街地	単位	回	数量	単価	金額	摘要
名称	規格	単位	数量	単価	金額	金額	摘要	
サウンディング及び原位置試験	標準貫入試験 粘性土・シルト	回	1				2026年春号 コスト 施工	
諸雑費	(まるめ)	式	1					
	合計							
	1回当り							

代価表

単-4号	標準貫入試験	砂・砂質土 安全費を計上する(率計上) 標準値を使用 (主として現道上) 大市街地	単位	回	数量	単価	金額	摘要
名称		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
	カウンディング及び原位置試験	標準貫入試験 砂・砂質土	回	1				2026年春号 コスト・施工
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1回当り						

代価表

単-5号	計画準備	3種目 (1. 2)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	理事、技師長(内業)		人	1.2				
	主任技師(内業)		人	1.8				
	技師(C)(内業)		人	1.8				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-6号	地盤特性検討	2 箇所 (1. 6)	単位	業務	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	1 金額	摘要	
	主任技師(内業)		人	1.6				
	技師(A)(内業)		人	1.6				
	技師(B)(内業)		人	0.8				
	技師(C)(内業)		人	1.6				
	技術員(内業)		人	2.4				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-7号	機構解析	2ブロック (1. 3)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	主任技師(内業)		人		1.95			
	技師(A)(内業)		人		1.95			
	技師(B)(内業)		人		1.3			
	技師(C)(内業)		人		1.3			
	技術員(内業)		人		0.65			
	諸雑費	(まるめ)	式		1			
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-8号	安定解析	2断面 (1. 1)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	主任技師(内業)		人	1.1				
	技師(A)(内業)		人	1.1				
	技師(B)(内業)		人	1.1				
	技師(C)(内業)		人	0.55				
	技術員(内業)		人	1.65				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-9号	対策工法選定	2箇所 (1.5)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	主任技師(内業)		人	1.5				
	技師(A)(内業)		人	3				
	技師(B)(内業)		人	1.5				
	技師(C)(内業)		人	1.5				
	技術員(内業)		人	1.5				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-10号	報告書作成	3種目 (1. 2)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	主任技師(内業)		人	1.8				
	技師(A)(内業)		人	1.2				
	技師(B)(内業)		人	1.8				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1業務当り						

代価表

単-11号	打合せ協議:H26	全 選 択 2回(標準)	単位	業務	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
業務着手時			回	1			単-12号	
中間打合せ			回	2			単-13号	
成果品納入時			回	1			単-14号	
諸雑費	(まるめ)		式	1				
	合計							
	1業務当り							

代価表

単-12号	業務着手時		単位	回	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	1 金額	摘要	
主任技師(内業)			人	0.5				
技師(A)(内業)			人	0.5				
技師(B)(内業)			人	0.5				
諸雑費		(まるめ)	式	1				
		合計						
		1回当り						

代価表

単-13号	中間打合せ		単位	回	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	1 金額	摘要	
技師(A)(内業)			人	0.5				
技師(B)(内業)			人	0.5				
技師(C)(内業)			人	0.5				
諸雑費		(まるめ)	式	1				
		合計						
		1回当り						

代価表

単-14号	成果品納入時		単位	回	数量	単価	金額	摘要
名称		規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	主任技師(内業)		人	0.5				
	技師(A)(内業)		人	0.5				
	技師(B)(内業)		人	0.5				
	諸雑費	(まるめ)	式	1				
		合計						
		1回当り						